

現場成果につながる正しい振り返りの実践

<p>1 成 果 の 明 確 化</p>	<p>《プラスの成果》</p> <p>①業績成果（新規売上高、利益率、生産性向上率、経費削減額、不良品または欠損削減率など）</p> <p>②成長成果（元気の良い挨拶や自主的な報連相、ルール遵守などの行動変化、商品知識や業務スキルの向上、資格取得など）</p> <p>③組織貢献成果（方針浸透、業務改善提案、後輩指導、会社や部門のイベントでの活躍など）</p>	<p>《マイナスの成果》</p> <p>①業績成果</p> <p>②成長成果</p> <p>③組織貢献成果</p>
<p>2 原 因 分 析</p>	<p>《上記プラス点で成果が上がった原因分析》</p> <p>1) 自律要因</p> <p>①知識やスキルによる要因</p> <p>②考え方による要因</p> <p>2) 他律要因</p> <p>①上司や他部門など組織の支援による要因</p> <p>②お客様や取引先、ライバルなどの環境要因</p>	<p>《上記マイナス点で成果が上がらなかった原因分析》</p> <p>1) 自律要因</p> <p>①知識やスキルによる要因</p> <p>②考え方による要因</p> <p>2) 他律要因</p> <p>①上司や他部門など組織による要因</p> <p>②お客様や取引先、ライバルなどの環境要因</p>
<p>3 対 策 づ く り</p>	<p>《プラス点の促進策》</p> <p>①プラス点の継続実行に向けたアイデア</p> <p>②成果事例の組織共有化のアイデア</p>	<p>《マイナス点の改善策》</p> <p>①マイナス点の根本的な改善に向けたアイデア</p> <p>②マイナス点防止の組織的取り組みのアイデア</p>
<p>4 実 行 計 画 の 修 正</p>	<p>①対策のアイデアを踏まえた計画の修正（5W1Hに基づいて具体的にシミュレーションすること）</p> <p>②計画の修正に盛り込むべき新しい第一歩行動の絞り込み（強みの強化を軸に、基本的に3つ以内が実践しやすい）</p> <p>③第一歩行動の中間チェック方法や組織の支援策の確認（仕事の主人公はメンバー自身であることを再認識させる場として活用）</p> <p>④第一歩行動の決意表明の方法確認（宣言により自己規制力がアップし、周囲の協力を引き出しやすい効果を押える）</p>	